

# 山陰の中小に人材紹介

## 運送業の流通

運送業の流通(鳥取県倉吉市)は山陰の中小企業向け人材紹介事業に参入した。専門スタッフを配置し、企業と求職者双方の事情を細かく聞き取って人材の橋渡しを展開。需給のマッチングに注力することで同業大手との違いを打ち出す。地域のシニアも含めて登録人材を増やし、企業にワークシェアなど効率的な人材活用方法を提案するコンサルタントも展開する。



人材紹介事業チームの社員と協議する江原社長(左)

同社は2017年11月に厚生労働大臣に有料職業紹介事業の認可を申請し、18年1月に認可された。5月から「鳥取・島根求人ドットコム」というサイトを立ち上げ、事業を試験的に始めた。

8月末現在の登録実績は、求人企業が29社、求職者が142人になっている。今後、地元金融機関との連携を通じて事業拡大を図る。20年をメドに求人登録数を400社に伸ばし、年間1億円程度の収益事業に育てたい

## ワークシェアなど提案

考えた。企業への定着を促すマッチングが新サービスの肝。7月から総務部門のベテラン社員をキャリアアドバイザーとして配置したほか、社員3人を専属の営業担当に据えた。営業担当は企業側が求人として出す仕事の内容や条件などについて詳細まで把握。アドバイザーが



「鳥取・島根求人ドットコム」のホームページ

流通 1977年に鳥取県倉吉市で創業。本社以外に鳥取県内2カ所と松江市に支店を構える。運送業を軸に、貸し切りして就業した場合は年収の20%で、パートの場合は20万円。登録手数料などはかかる。1カ月以内に紹介者が辞めた場合は70%、2カ月以上3カ月以内なら30%を返金する規定もある。

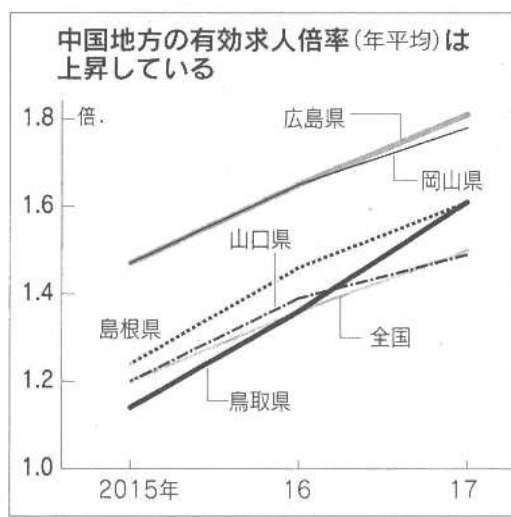
同社もドライバー不足などに直面し、勤務を細分化して地域のシニア世代を活用する効率化を進めており、自社のこうした取り組みも生かす。

新サービスの顧客企業にはワークシェアの手法などを提案し、人材を確保しやすい環境づくりも支援する。江原剛社長は「同じ中小企業として人材難を抱えている。シニアなど地域に眠る労働力も掘り起こし、顧客企業への人材供給・定着を展開できるサービスに育てたい」と話す。

これまで4社で5人の採用を橋渡しした。葬祭業の公益社小山(倉吉市)は9月、事務担当の女性社員の採用にこぎ着けた。

キャリアアドバイザーは就職した女性に電話をかけて仕事ぶりを聞くといった細やかな支援も続ける。小山裕一社長は「面接から採用までの手続きは手間と労力がかかるが、中小は人事担当部署を設ける余裕がない」とし、流通の手掛けるサービスを評価する。

(山本公啓)



## 中国求人倍率は高水準

求職者減少も押し上げ

中国地方の有効求人倍率はとらなっている。17年の生産年齢人口(15~64歳)は、16年の平均では都道府県で広島がより鳥取で5390人、島根5位、岡山が8位だった。鳥取で5818人がそれぞれ減った。取は同倍率が12年に0.70倍と全国平均(0.80倍)を下回ったが、徐々に上昇。17年あり、鳥取労働局の喜多見靖は1.61倍と全国(1.50倍)職業安定部長は「ミスマッチを上回った。

近年、山陰でも企業の求人問題。企業と求職者のお互いが活発になる一方、求職者のより良く知ることが重要になる減少も倍率を押し上げる要因」と指摘する。

## 広島交通復旧進む

JR呉線・国道31号が再開

市内と呉市内とを結ぶ鉄道は2カ月ぶりに再開した。坂一呉の運転を9日に再開し、広島駅から広島までは通常ダイヤより運転を感らして運転を再開する。

中を予定したクレアラライの通行止め解除を10月上旬に前倒しすることを公表。坂北ICから呉ICまでの13キロは今も通行止めが続いている。

再開が目標。JR貨物の列車も再開を目指す。マツダは10日、被災前の高操業に戻した。北海

道の状況は確認中という。道内の販売店はすべて9日に営業を再開した。

本郷店の店舗15日に営業再開  
マックスバリュ西日本  
マックスバリュ西日本